

詩の舞臺に
蝶々が舞う



1997

社団法人日本作詩家協会 年刊詩謡集

まの初詩あしたの詩

社団法人 日本作詩家協会 年刊詩謡集

1997年版

開いたページが宝もの

会長 星野哲郎

一篇一篇の作品の重さが、

この詩謡集を支えています

「歌謡詩」という一つの根っこから、
幹となり、枝となり、葉となり、そして
花となり、実となつて支え合つてい
るのが我が協会です。

それぞれの時代、それぞれの役割り
がきちつと出来ていたからこそ、現在
の協会という一本の樹木があるのです。

歴史は、歳月と繁忙のなかに埋もれ
てしまいがちですが、誰かが、どこか
で、風となり、雨となり、腐葉土とな
つて協会という樹木をここまで逞しい
茂みに育ててくれたということをし、
私たちは忘れていけないと思います。

素敵な仲間の中に私も一緒にいる。
そう思うと私は、この「詩謡集」が
愛しくてたまらない。

どのページを開いても「宝もの」です。

平成九年十二月

目次

〈氏名 五十音順〉

開いたページが宝もの……………	会長	星野哲郎……………	一
貴船川情炎……………	あい木	隆……………	六
恋山彦……………	青木	創……………	七
雨の街角……………	青木	正……………	八
めぐりあいふたたび……………	赤坂	佳津子……………	九
新宿酔いどれ……………	明科	昌門……………	一〇
白兔海岸……………	茜	まさお……………	一一
涙は拭くなよ男だろ……………	秋	浩二……………	一二
波止場の雀……………	秋	篠さと……………	一三
涙線上のアナタ……………	秋	田泰治……………	一四
吞まれちゃならぬ……………	秋	山哲三……………	一五
生生流転……………	麻	こよみ……………	一六
どしゃ降り人生……………	飛鳥井	芳朗……………	一七
緋酔……………	梓	真弓……………	一八
北洋基地……………	アベ・イチロー……………	……………	一九
言葉の見えない夜……………	鮎川	公正……………	二〇
酒トンボ……………	荒川	利夫……………	二一
カラスの女房……………	荒木	とよひさ……………	二二
愛があるから……………	有村	季佑……………	二三
真夜中のしのび逢い……………	粟	てるこ……………	二四

冬の海蚩……………	淡路しのぶ……………	三五
生きて候……………	安藤潤……………	三六
やすらぎの花……………	飯田悠介……………	三七
出船・北行き……………	飯塚義美……………	三八
愛の花束を……………	生田恵子……………	三九
人 間……………	いけやかつとし……………	四〇
瀬戸の恋楽橋……………	生駒かつゆき……………	四一
根室本線……………	石 一十……………	四二
恋 太 鼓……………	石浦 洗……………	四三
七月の風に会いたい……………	石津 まさみち……………	四四
昭和街道……………	石本 美由起……………	四五
面影海峡……………	泉 のぼる……………	四六
いのちの海……………	伊丹領唯……………	四七
旅 情 歌……………	いではく……………	四八
隅田の桜……………	いとう 彩……………	四九
きらめきの夏……………	伊藤 一生……………	五〇
おんでんさい……………	伊藤 悟……………	五一
天国と地獄……………	伊登 日早子……………	五二
豆を買うわけ……………	井上裕 允……………	五三
愛縁の曲弾き……………	井口政弘……………	五四
波止場物語……………	井村昭治……………	五五
なにわ艶笑さんげ 春よ 恋……………	井村 幸男……………	五六
大江東音頭……………	岩田道之輔……………	五七
川越ごころ……………	白井ひさし……………	五八
女咲くなら桃の花……………	碓氷夕 焼……………	五九
遠州路恋唄……………	内山和 樹……………	六〇

北の旅愁……………	宇都木 正次……………	六
男心・女心……………	宇都宮 美代……………	三
行くくわ……………	宇山 清太郎……………	三
雪国駒子に似た女……………	恵谷 るり……………	六
ひとこと言つて……………	大崎 二三子……………	六
炎の舞……………	大澤 陽 央……………	六
四万十川慕情……………	大嶋 なほみ……………	七
恋の二日酔い……………	大野 ひろみつ……………	六
ハガキ……………	大前 裕 子……………	九
夕の駅……………	大森 富士子……………	七
湯の町夢情……………	大屋 詩 起……………	七
郁子の花……………	岡 崎 恵……………	七
ほたる川……………	岡崎 ふくみ……………	七
筑後川哀歌……………	小川 妙 子……………	七
オロフレ挽歌……………	小川 比富美……………	五
愛しているから 怒つてる……………	小川 ゆ き……………	七
恋のルール……………	小 川 豊……………	七
魚群はどこだ……………	おきの 舟人……………	六
忘れなよ……………	おさべ あさ……………	九
女・みれん町……………	落 合 秀 男……………	八〇
男に叶う……………	小野 津加佐……………	八
ポレポレ……………	おもて やちよ……………	八
親父万歳……………	甲 斐 新……………	八
秋の哀歌……………	香 折 雪 絵……………	八
かなかな……………	か ず 翼……………	五
女の子守唄……………	加 藤 市 平……………	六

酒	芝居	かとうえつろう	八七
港町	春秋	加藤テル	八八
私の始発駅		香取翔子	八九
夜の深海魚		金谷怜沙	九〇
しのぶ故郷一人旅		神作光志	九一
節		川 英雄	九二
あゝ懐かしの流行歌(パートI)		川端 はじめ	九三
門出の春		川村 一希	九四
久留米つつじの紅い恋		川本愁光	九五
ラブ・イズ札幌		北大路 実由樹	九六
福島の花		北川文化	九七
影で愛します		木立雄幸	九八
こがれ川		北見 なぎさ	九九
北の海峡海が鳴く		織 一年	一〇〇
無限地獄		木下 由紀子	一〇一
希望峰		木下 龍太郎	一〇二
おんなの奥入瀬		木村賢司	一〇三
はぐれ道中		木村 壮吉	一〇四
よくあることね	こんなこと	木村 幹枝	一〇五
千年のかがり火		曲 保	一〇六
愛する嘘		久仁京介	一〇七
道の駅		國井 ただし	一〇八
下町メロドラマ		國枝 星志	一〇九
季節にそむいて		久保 祐基	一一〇
泣きたいけれど	泣きません	窪田和男	一一一
双六女旅		倉島雅三	一一二

北国街道（パート1）	倉田 正明	二三
風雪夫婦歌	黒川 良人	二四
大阪好つきや	黒田 すゝむ	二五
面影	小出 アキ	二六
ためらい花	上坂 元祐	二七
おとこ坂	甲元 良典	二八
エトランゼ	小島 高志	二九
心酔	小島 哲	三〇
熟女	五城 しげみ	三一
秋霖	こだま まさこ	三二
忘れていいの	こはま かずえ	三三
白萩の道へ	小林 いさお	三四
祇園姉妹	こばやし 克至	三五
俺にゃ すぎた女房だぜ	小林 たけし	三六
蘇州追懐 浜名湖・館山寺にて	五味 彩順	三七
春の旅才ホーツク	小宮 正人	三八
女ひとり	近藤 英子	三九
おけさおけさのたらい舟	近藤 しげる	四〇
早春の頃	紺野 あずさ	四一
飛べない鳥	さいとう 大三	四二
相模川哀歌	斉藤 葉月	四三
言い訳聞く前に	磋川 温子	四四
心の流行り歌	櫻井 馨	四五
ベビー あなたは天使	桜本 繁	四六
素浪人・七右衛門	佐々木 安伸	四七
夫婦百計	佐田 英介	四八

凡	歌	佐東	たどる	三九	
雪	女	佐藤	としかず	四〇	
恋歌	通り	佐藤	ひでお	四一	
天守	閣	佐藤	秀千代	四二	
いのち	死ぬほど強くもなく	里村	龍一	四三	
里	灯り	佐野	昌一	四四	
港	祭り	椎名	英威子	四五	
コック	ピット	志賀	大介	四六	
おめで	とう	篠	瑠美子	四七	
翅のない	手紙	寫	馨子	四八	
この星で	うまれたあなた	島	ちどり	四九	
泣き	笑い	島田	邦博	五〇	
歌	あればこそ	下地	亜記子	五一	
つなが	れた舟	下野	登美子	五二	
クリスマス	要約すると	白河	時夫	五三	
ひ	ざ	枕	城岡	れい	五四
産土の	大地	新保	治平	五五	
あなたに	愛を	菅野	政義	五六	
北	新地	通い	鈴木	紀代	五七
男の	舞	台	鈴木	清子	五八
男	だ	ね	鈴木	佐季	五九
残	月	鈴木	昭一	六〇	
長	谷	寺	鈴木	信子	六一
古稀	過ぎて	鈴木	みつぐ	六二	
孤	独	鈴木	れい子	六三	
Tomyson	きつと光の中で	須田	厚子	六四	

ことのついでに……………	須田茂樹……………	一六五
命染めながら……………	関口義明……………	一六六
夢の中の私……………	妹尾恵美子……………	一六七
おバカさん……………	曾我幸義……………	一六八
人生まわり道……………	園さちこ……………	一六九
勝ち鞍……………	高たかはる……………	一七〇
下町恋あかり……………	たか正美……………	一七一
この恋ゆえに……………	高田れい子……………	一七二
風の市……………	高塚和美……………	一七三
十勝平野……………	高野礼子……………	一七四
春風の恋……………	高橋耕作……………	一七五
北の都に花咲けど……………	高橋たけお……………	一七六
夜叉ざんげ……………	高橋テツ子……………	一七七
恋鏡……………	高橋ひでお……………	一七八
くずれ追分泣き唄い……………	高橋ゆきを……………	一七九
ふるさと自慢……………	高畑和之……………	一八〇
暗き夜空の……………	高島じゅん子……………	一八一
修羅修羅阿修羅……………	高林こうこ……………	一八二
影役者……………	高安弘……………	一八三
筑波嶺讃歌……………	滝川たけお……………	一八四
恋する女は花にて候……………	多岐川まさし……………	一八五
流れ旅光太夫……………	滝田常晴……………	一八六
多摩川……………	たきのえいじ……………	一八七
もう誰も愛さない……………	たくわん……………	一八八
哀愁・想い出めぐり……………	立川加根依……………	一八九
三田浜しぐれ……………	田中衆兵……………	一九〇

大川しぐれ	たなか ゆきを	一九
良 寛	谷口 千郷	一九三
こんどる	たにはら 伸	一九三
白線流し	多野 亮	一九四
お風呂上りの男	玉利 要	一九五
西の京物語	田村 和男	一九六
どうぞ	千葉 幸雄	一九七
それが人生 人生航路	津岡 政信	一九八
ぬくもり駅	対馬 慎一郎	一九九
泣くな泣くな しゃあないぜ	土田 有紀	二〇〇
季節が巡れば	土屋 正敬	二〇一
ひとり芝居	つるぎ まさる	二〇二
夢 港	照 沼 寛	二〇三
いのちの輝き	戸田 富久子	二〇四
夜明 け月	鳥羽 貞子	二〇五
雨の基隆港	永田 悦雄	二〇六
冬の 蜂	中村 美智子	二〇七
港の金魚	中村 要子	二〇八
港町恋唄	中村 よしかず	二〇九
野ばら恋歌	中程 しま子	二一〇
越後ひとり	中山 真一	二一一
性格不一致	中山 大三郎	二一二
原町旅情	長山 たかのり	二二三
いろはに恋歌	那須野 巖	二二四
地中海LOVE	仁井谷 俊也	二二五
黒髪怨歌	賛 田 清	二二六

恋はあなたでしめくくり……………	西本健郎……………	二七
ロンリー バースデー……………	丹羽敏彦……………	二八
野菊の残照……………	沼川淳……………	二九
新・結婚行進曲……………	能勢英男……………	三〇
親ごころ……………	野村耕三……………	三一
夫 婦……………	ハギワラ 照生……………	三三
哀愁 海峽……………	羽澤文子……………	三三
宇宙へ翔び出せ―シャトルスジャーニー21―八 田 満……………	田 満……………	三四
彩 炎 華……………	華 うさみ……………	三五
吉 野 杉……………	花田ひろし……………	三六
はなさない……………	浜 晃 一……………	三七
”祇園祭”は京の夏……………	浜岡三郎……………	三八
ふるさと祭り……………	林 とおる……………	三九
若狭ひとり旅……………	はらあきら……………	四〇
夫婦 屋台……………	原 こうじ……………	四一
讃 岐 路……………	原 文 彦……………	四二
心 の 旅……………	はらやすし……………	四三
母に贈る歌……………	飛田多恵子……………	四四
たそがれの雨……………	日 高 耀……………	四五
男 下 手……………	平井健一……………	四六
大 野 川……………	平川正義……………	四七
恋つぼみ……………	藤岡和子……………	四八
ヤン衆船……………	古江八重子……………	四九
男 な ら……………	ぼくはじめ……………	五〇
泥んこ川……………	星合節子……………	五一
しぐれ酒……………	星川成一……………	五二

戻り橋 独り唄	星野 哲郎	二四三
海辺の思い出	細川 ふみ子	二四四
笛 吹 川	ほたる 翔	二四五
月影の道	堀 絹美子	二四六
恋ぼたる	堀尾 恭子	二四七
熱帯低気圧(トロピカル・ストーム)	榎 映 二	二四八
俺の瀬戸内海	正木 のりゆき	二四九
崖っぷち人生	増田 しげる	二五〇
芍薬しぐれ	松井 由利夫	二五一
夢子の暦	松尾 和彦	二五二
”川”の字	松 生 静	二五三
演歌だヨ。	松崎 知之治	二五四
湯の町恋慕情	松 本 眞 二	二五五
花街しぐれ	松 本 摂 子	二五六
はまなすの花	三 浦 清 二	二五七
慕 情 の 湖	三 浦 康 照	二五八
一 茶	みお こうすけ	二五九
恋かけろう	三 上 博 司	二六〇
海 明 け	三 里 こうじ	二六一
浄 恋	美 嶋 景	二六二
愛情物語	水木 れいじ	二六三
きかん坊にも秋が来た	水野 甚太郎	二六四
愛の真実	水野 節子	二六五
地球にやさしい一日	南 早 苗	二六六
東京ぐらし	南 由 一	二六七
一茶しぐれ	み ね 隆	二六八

夜明けのブルース	峰 よしを	二六九
長良の萬サ	峰崎 林二郎	二七〇
雪 岬	宮内 たけし	二七一
日 和 山	三宅 立美	二七二
ふるさとは今	みやけ 知絵	二七三
螢 火 哀 歌	宮崎 テルミ	二七四
ナスタチユウム	宮 中 雲 子	二七五
ねんね涅槃の	宮 原 哲 夫	二七六
アカシア	紫 野 ゆ き	二七七
雪だるまの心臓	室 井 隆	二七八
京 嵯 峨 野	室 山 多 香 史	二七九
くちなし夢情	本 池 昭 弘	二八〇
Reincarnation	森 林 檜	二八一
水 の 炎	森 岡 司	二八二
恋 ! 三 彩	森 田 えい 美	二八三
銀座ラブソディ	守 田 英 雄	二八四
竹 仁 義	八 木 吾 郎	二八五
吉村道明を憶えているか	矢 坂 秀 司	二八六
倅せになるからね	八 坂 みやび	二八七
初 雁 の 宿	八 代 青 樹	二八八
あすなろの宿	や ま 一 央	二八九
時に女は嘘をつく	山 内 寿 実	二九〇
信濃路佐久高原	山 岸 まさし	二九一
心 綴 り 詩	山 北 由 希 夫	二九二
夢 探 し	山 口 勝 子	二九三
銀座挽歌	山 崎 ふ み え	二九四

炎の愛	山下晃一	二九五
流星雨	山田孝雄	二九六
あなたそばにいて	山田博康	二九七
恋酔い舟	やまだりゆう	二九八
人生花音頭	山野由美	二九九
幸せのスイッチボード	湯川れい子	三〇〇
とこしえのリビエラ	横森葉子	三〇一
ふる里を安曇野を	吉川徳子	三〇二
蓮如上人	よしだ純	三〇三
津軽味線抄なみだの音	吉田博司	三〇四
仕かけた恋	吉田よし子	三〇五
無花果(いちじく)	吉本歌世	三〇六
北の海峡	連達人	三〇七
お三の宮物語	若林澄人	三〇八
夫婦星	若松かつ子	三〇九
さよなら岬町	若松秀美	三一〇
つゆ草の花	渡辺和於	三一
雪しぐれ	渡辺螢雪	三二
幻夢	渡辺よし枝	三三
夫婦寿司	和田明	三四

題字
表紙

星野哲郎
吉田旺